

阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくります。

昭和62年

9/5

山口県吉敷郡阿知須町
 発行 阿知須町役場
 電話 4111(番代) 754-12

広報あじす 毎月5日 発行
 お知らせ版 毎月20日 発行

No.429



▲代神楽を保存するために夜おそくまで練習が続いた

誇りを持って 伝統芸能を保存



「そうじゃない、何べん言うたらわかるんか！」代神楽の練習をする子どもたちに、指導者の厳しい声が飛ぶ……。

小古郷地区では九月六日に本町で開かれる『山口県中部地区身障者体育大会』のアトラクションに出演のため、夏休みの金、土、日曜日に地区公民館で練習を行いました。

練習は地区の小学四、六年生で、男の子は踊りと太鼓、女の子は笛を担当。

踊り方や笛の吹き方が本来のもの比べて、少し変わってきているため「今年は昔の形にもどそう」と、他地区に移り住んだ先輩も加わって熱の入った練習でした。

獅子、天狗、ひよっこ、おかめを組み合わせた代神楽という伝統芸能を次代に伝えて行くために、小古郷地区では昭和五十一年に保存会を結成。全区民が会員となって取

り組んでいます。

「伝統芸能の保存には、まずその芸能に対して誇りを持つことが大切です。次いで地域の人たちの関心ですが、青年層が学業や仕事などのために関心が薄いんですよ。若い人たちが子どもたちを指導してくれるのが一番よいと思うんですが……」と、保存会会長の平海武二さん(小西)。

本町にはもう一つ、井関、野口、杖川地区に鶺鴒踊りという伝統芸能がありますが、これを承継するための悩みは同じようです。

伝統芸能は祖先が私たちに残した大きな文化遺産です。これを守り伝えて行くことは私たちの使命ですが、若者のエネルギーがこれに注がれたときに、地域全体の連帯感が深まり、まちづくりにむけての大きな力が湧き出すのではないのでしょうか。

お年寄りが 座談会

戦争は苦しかった…… 余生は楽し、家庭に趣味に…



工藤 一雄さん (77歳、西条)
西条生まれ、家業の回船業を継いだ。戦争のため、宇部興産に勤務。途中、兵役の経験が2度ある。現、町老人クラブ連合会会長。子どもは町外に、ひとり暮らし。



正司ウメノさん (87歳、浜)
宇部市生まれ。結婚して阿知須に住む。その後、助産婦として活躍。息子夫婦や孫と同居8人家族。



田中ハナコさん (70歳、岩西)
朝鮮生まれ。結婚後、宇部市、山口市を経て、戦後、復員した夫と本町へ。現、町民生児童委員、息子夫婦や孫らと6人家族。



松重 三次さん (79歳、西条)
西条生まれ、家業の菓子店を継いでいたが、途中、戦争のため山陽赴き勤務。昭和26年から、家業にもどる。夫婦、長男夫婦、孫らと同居6人家族。



柳井 喜一さん (75歳、引野)
本町で生まれ、農業一筋。昭和18年に出征の経験。現、引野老人クラブ会長。妻や長男夫婦、孫らと7人家族。



野上千代さん (71歳、細南)
築地生まれ。宇部市二俣瀬へ嫁ぎ、終戦後、夫とともに本町へ。夫婦2人住まい。

船に積んで、神戸やら大阪へ運びました。天候などがよいと一週間で往復できましたが、気象と海の地形や潮の流れなどを計算しないと行かない。帆船は技術と判断力と度胸が必要でした。

——戦争の思い出は
工藤「私は支那事変と大東亜戦争のときの二回、戦争に出ました。忘れられないのは昭和十九年に輸送船に乗ったときのことです。ジャワへ荷物を届けるのが目的でしたが、その頃はすでに敵の飛行機や潜水艦によって輸送船は撃沈されるが多かった。そのため出航が三回も変わりました。門司港から出航したが、いつ死ぬかわからない。今夜死ぬだろう、明日はまちがいなく攻撃を受けるだろうと思いつつながら食事をしました。ところが不思議に攻撃を受けなかった。サイゴンの港について驚いたのは、港の中で日本の輸送船がみんな沈んでいたことです。それから、シンガポール経由で帰って来ましたが、今、考えてみても奇跡の生還だったと思います。」

柳井「私も戦争へ出ましたが、私は目が不自由で夜よく見えません。夜間行軍は馬の尻尾を持って歩きました。眠たくても、どうにか馬が目的地に連れて行ってくれました。馬は頭がエエです。」

正司「銃後を守っていた女も大変でしたよ。私は助産婦として深夜でも仕事をしました。が、夜間の空襲などに備えて

九月十五日は「敬老の日」そしてこの日から一週間は「老人福祉週間」です。これまで社会に貢献してこられたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、お年寄りの自らも健康に注意し、今日まで培ってこられた知識と経験を社会に役立てていただくというものです。そこで、今回は町内のお年寄り六人の人たちに集っていただいて昔話、苦勞話などの「座談会」を開きました。

では、そのあらましを紹介しましょう。(敬称略)

——子どもの頃、若い頃の思い出はどんなことがありますか
工藤「干拓が出来る前の阿知須の浜は遠浅で、魚が豊富にとれよかった。えび、はまぐり、あさり……おもしろいからなんぼうでもとると、持って帰られんようになって、また、海に捨てるほどでした。」

柳井「私は、引野ですから、山で「ずべりんこ」というて、柴を尻に敷いて山をすべって遊びました。」

正司「昔は、子どもはお金のかからない遊びをしました。みんな、まわりの物を使って何か作って遊びましたね。」

松重「水鉄砲やら杉鉄砲、竹トンボ……みんな手作りです。楽しんでましたね。」

野上「浜辺に飛行機が、戦前と戦後の二回、不時着したことがありました。みんなが見

に行つて、にぎやかで祭りみたいなことでしたね。」

柳井「あのとき、初めて飛行機というものを目の前にしました。」

工藤「そういうえば、私たちの若い頃は乗り物といっても別になかった。宇部ぐらいなら歩いて行くのが当たり前なもので、下関へ行くときは丸尾から蒸気船が出ました。防府の天神祭に行くときでも歩くか、丸尾からの船か、どちらかじゃった。」

正司「大正十三年に宇部線ができて便利になりましたね。」

野上「回船業で栄えていた頃は、阿知須浦はにぎやかじゃったですね。船が上方から帰つてくると大宴会がありました。料理屋やらも七、八軒ありましたかね。」

工藤「私は家業で、石炭を帆

9月12日「敬老会」

町では「敬老会」を九月十二日(土)午前九時から、町公民館三階大講堂で開きます。招待者は今年度七十三歳以上のお年寄りで七百六十六人。町内の九十歳以上のお年寄りは、来年三月末までに九十歳になる人を含めて四十五人。昨年よりも四人増えました。

内訳は男性十四人、女性三十一人。今年度、新しく仲間入りしたお年寄りは九人。最高齢者は哥川スエさんで現在、百三歳。県内で八番目の長寿です。

町老人クが奉仕作業

9月20日に2時間程度町内の老人クラブでは九月二十日(日)午前九時から二時間程度、各地区で清掃作業の奉仕を行う予定です。作業する場所には「社会奉仕活動の日」のノボリをたてます。

今年度米寿を迎える人

明治三十三年三月三十一日生まれまで

氏名	生年	明治	住所
野村 数馬	三二年	三	沖の原
片岡ヒサ子	"	"	"
西村 哲夫	"	"	砂三
西村 計一	"	"	河内
原田サクエ	"	"	北祝
中村 林一	"	"	北祝
上山アサノ	"	"	恵比須

町内長寿番付



阿知須校区

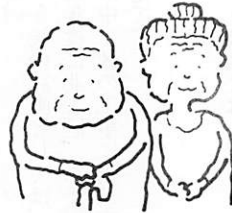
横綱	松浦	萬治 (25年、砂三)
張出横綱	中野	小三郎 (26年、岩辻)
大関	上野	チヨ (27年、岩前)
張出大関	磯崎	弥作 (27年、縄南)
関脇	中嶋	ヨシ (27年、浜)
張出関脇	田村	敏介 (28年、浜)
小结	国平	サツ (28年、南祝)
張出小结	江口茂一	兵衛 (28年、中村)

井関校区

哥川	スエ	(17年、河内)
中村	光	(25年、旦西)
柳井	マツヨ	(25年、引野)
西村	仁作	(26年、野口)
福田	優一	(27年、杖川)
福富	ハナ	(27年、井関)
永山	ヒノ	(29年、旦門松)
石丸	ハツノ	(29年、赤迫)

前頭筆頭	吉村	シノエ (29年、砂三)
前頭二枚目	縄谷	茂一郎 (29年、恵比須)
〃三枚目	寺田	ミツエ (29年、砂三)
〃四枚目	縄中	惣太 (29年、小西)
〃五枚目	浜崎	作一 (29年、築地)
〃六枚目	西川	シズノ (29年、小東)
〃七枚目	福田	伍一 (29年、縄南)
〃八枚目	竹代	ハナ (29年、西条)

(番付は生年月日の順番で編成しました)



白松苑

武永	ツキ	(22年)
藤本	イワ	(23年)
高重	ツ子	(26年)
川口	ヤス	(29年)
大下	タキ	(29年)
原田	アキ	(29年)

() は生年 (明治)、住所

町内長寿夫婦ベスト10

右端の数字は夫婦の年齢合計

1. 縄中 惣太 (91)) 小西 180
ムメ (89)	
2. 浜崎 作一 (91)) 築地 179
ヤエ (88)	
3. 田村 敏介 (92)) 浜 178
ハナコ (86)	
4. 武永 耕輔 (87)) 旦東 173
ミトメ (86)	
5. 江本 栄助 (88)) 縄南 172
トメノ (84)	
5. 岡村 幹治 (87)) 岩辻 172
イシ (85)	
5. 山根 平喜 (90)) 源河 172
ヒサコ (82)	
8. 西村 哲夫 (88)) 砂三 168
千代子 (80)	
8. 田辺 悦雄 (86)) 岩西 168
国香 (82)	
8. 山根 茂一 (85)) 旦北 168
ムメノ (83)	

灯火管制があったので、夜道を明り無しで自転車に乗って走りまわった。あくる日に見ると昼間でも走れそうにないよ。うな道だったこともあり、食べるために、初めて農作業もしました。やっと出来た作物も供出のために、家にはわずかしかなかった。田中「私は夫が出征したので、山口に疎開していましたが、昼間は字部で働いていました。通勤電車が満員なので駅員さんに後ろから押ししてもらいま

した。山口に子どもと親が待っているの、どんなことがあっても帰ろうと一生懸命でした。」
松重「昭和二十年八月十四日のことを私は忘れられません。山陽荘に勤めていた私は仕事の間係で広島県呉市の海軍病院に汽車で行きましたが、途中、光市と岩国市の爆撃に合い、トンネルへ避難しました。当時弟が兵役で広島市にいたので捜しましたが、知人から弟の部隊は空襲でほとん

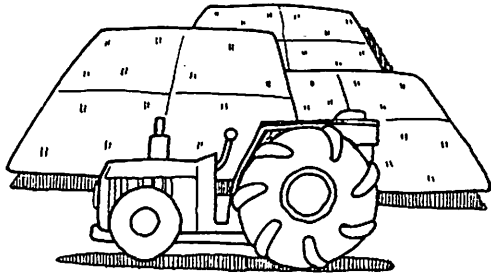
ど死んでしまったと聞き、がっかりしました。そして、あくる日、私は呉であの玉音放送を聞きました。」
野上「主人が出征していたので主人の両親と二俣瀬に住んでいました。二人とも病気でしたので医者に往診してもらおうと思つて、タクシーを呼ぼうとするとタクシー会社は米と木炭をくれるなら行つてもよいというのです。隣り村の小野まで木炭を買いに行つて、背中に八貫目ほど炭を

担うて帰りました。エライ目にあいました。それで便利なところへ住もうと思つて阿知須に帰ることにしました。」
正司「終戦後、食べる物ではなさけない思いをしました。」
田中「みんな着る物を食べ物に変えて生き延びました。その頃の苦労は忘れられません。」
「みなさん、いま大変お元気がですが、いま、何に生きがいを感じておられますか」
工藤「波乱の多い人生でしたが、今は子や孫やひ孫の顔をみるのが一番の喜びです。」
正司「お寺に参つて、法話を聞いたりますことです。」
田中「健康です。余生は、ボランティア活動などでみなさんのお役に立ちたいと思います。」

野上「趣味はたくさんあります。それを生かして社会に奉仕したいですね。」
柳井「農業一筋で生きて来ま

江本 栄助	三三年	縄南
吉本キクノ	〃	旦西
浜崎 ヤエ	〃	築地
佐藤 ルノ	〃	井関
国重 兼一	〃	引野
古谷 俊一	〃	東
上村ヒサヲ	〃	縄北
潮崎セツノ	〃	沖の原
林 ヒサノ	〃	沖の原
縄中 ミヨ	〃	小東
川崎マチノ	〃	沖の原
伊藤ハル子	三三年	砂二
長谷川サダ	〃	〃
正司ウメノ	〃	〃
国重 ムメ	〃	向井関

したから、収穫が一番の喜びです。」
松重「若い頃から集めた本を読みます。日記は三十年ぐらいつけています。読むことと書くこととっておきましようか。」



役場は1話

産業課の巻

産業課は農林水産業や商工業の振興や観光に関することなどを担当しています。

今回は、今年度から着工する予定の「県営ほ場整備事業」について聞いてみました。

ほ場整備とは

ほ場整備とは、農地の区画整理を中心に、これに関連している用排水路、農道、暗きよ排水などを総合的に一挙に整備する事業で、一般的に次のような効果があります。

○区画整理により、ほ場の形が整い、分散している農地が集団化されるので、作業効率があがる。

○湿田は乾田化するので、米に限らず作物は何でも栽培できる（「農地の汎用化」というようになり、土地の利用効率が良い）。

○稲作を中心とした営農体系が見直されている今日、米の生産調整に伴う転作対応がしやすい。

○ほ場一枚ごとに農道、用排水路に沿うことになり、他人のほ場を通らないで出入りできるようになる。用水と排水が別々になるので、隣りのほ場にほとんど関係なく、水のかけ引きができるようになる。

今年度のほ場整備の計画

本町を黒谷および山立ため池と井関川を水源とした南地区、万年および江畑ため池を水源とした中地区、土路石川水系を主とした北地区の三地区に分け、それぞれに予算を配分して実施して行きます。

今年度は、南地区の内、上

ほ場整備の目標面積と土地所有者の概数

工 区	目標面積	土地所有者 (のべ)
南地区	133ha	250人
中地区	145ha	315人
北地区	150ha	300人
計	428ha	865人

流側に当る第一換地地区の一部を着工することになっています。

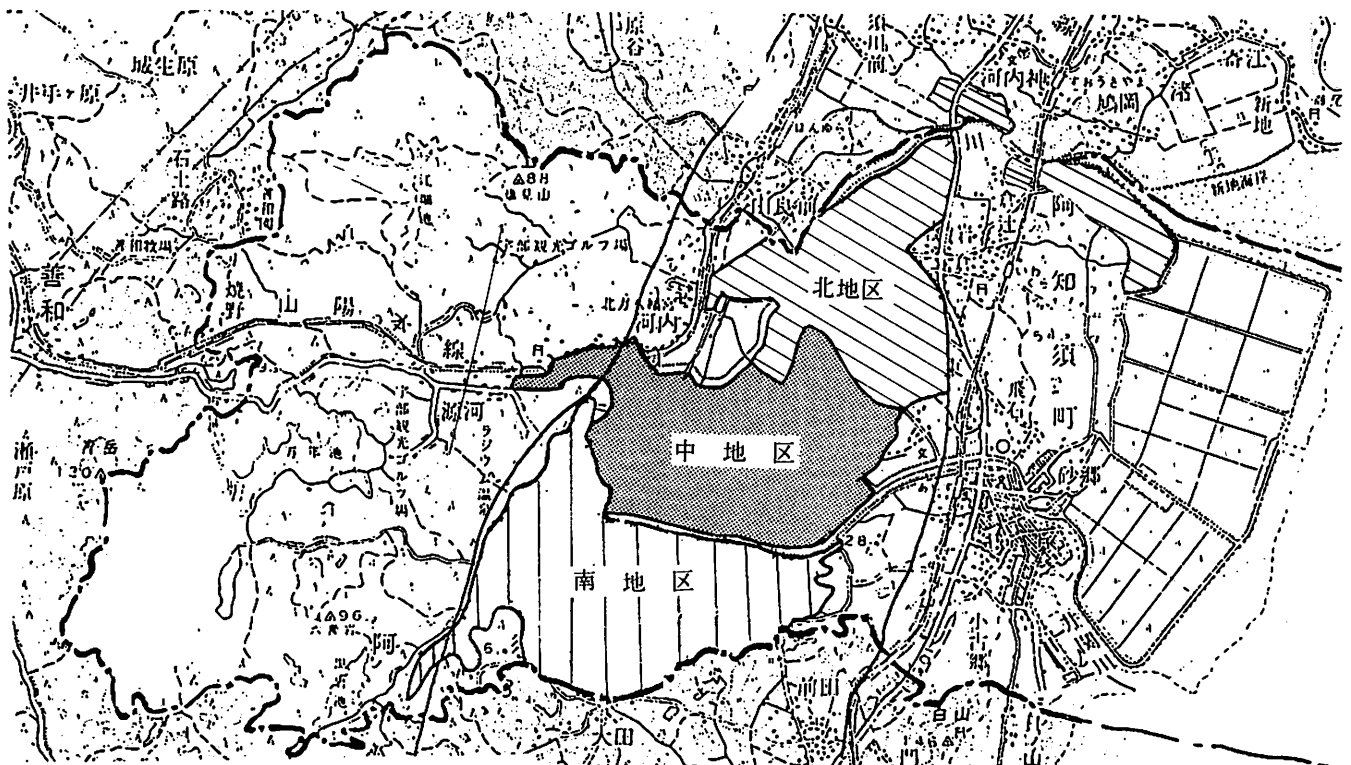
今後の計画としては、六十三年度に北工区、六十四年度に中工区の工事に着工する予定です。

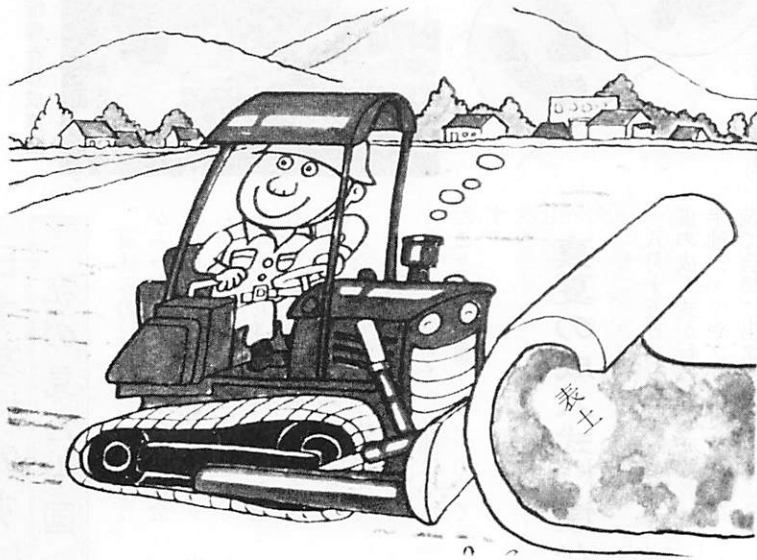
換地とは

換地とは、工事前の土地面積の持分に応じて工事後に面積配分を行うときに、分散している土地をなるべく一か所に集める作業のことで、土地の評価や工事後の清算、登記などの作業も含まれます。

換地の作業をすすめるときに、農道や水路などの公共用地を土地の持分に応じて一定の割合で出し合う減歩率というものが大切となってきます。減歩率は工事前の土地の地形などによって差がありますが、普通〇・五割〜一割程度です。

本町のほ場整備地区





——「土地改良区」とは

土地改良事業の中で、おもにほ場整備を実施することを目的とした団体のことです。すでに本町には「黒谷ため池土地改良区」「河内・引野地区土地改良区」の二つの土地改良区があります。

町の農業振興地域のほ場整備をすすめていくために、町内の全農家を組合員とした「阿知須町土地改良区」を設立するための準備を現在行っています。

——ほ場整備はどのような手順で工事を行うのか

換地の区画割をした原案をもとに、水源がどこにあるのか、いくら水の量があるのか、雨が降ったときは、など農業水利の検討、農道の配置の意見を経合して「換地区画割図面」を作成し、設計をします。

工事は、まず表土のはき取りから始まります。表土を一定の箇所に集め、農道や排水路

を造り、ほ場基盤を正しく整え、表土を撒き戻します。最後にほ場の「でこぼこ」を直して、区画の畦畔をつくり、農道に用水パイプを布設します。

——資金計画はどうなっているのか

ほ場整備事業には、将来にわたる食糧の確保と国土保全だけの効果しかないのか

いいえ、農業生産の基盤整備ということ以外にも多くの効果があります。

たとえば、道路が整備され日常の生活道路や通学道にも便利になります。用水と排水路が分離されるので、幹線排水路が立派なものになると、生活排水も流し易くなり、大雨が降っても道路が湛水することが少なくなり、防災上の効果もあります。

また、生活環境を良くするための施設用地を新しく生み出すので、農村の生活改善への効果も大きいと言えます。

町では、このような効果が結果的に副効果として生み出されるのではなく、最初から計画の時点で積極的に盛り込むようにする予定です。

ほ場整備が町づくりに役立つよう、農家のみならず

という公共性があるので、個人の財産の改良でありながら高率の補助制度があります。

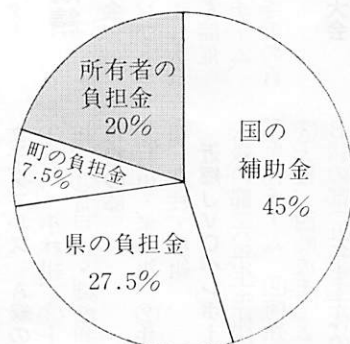
本町の場合、農家負担が二割、補助金が八割となっています。

今年度の価格基準で一ヘクタール当りの工事費は平均千万円ぐらい必要ですが、農家負担分については「土地改良区」が農林漁業金融公庫資金を借入れて、工事後の配分面積に応じて地主から費用を徴

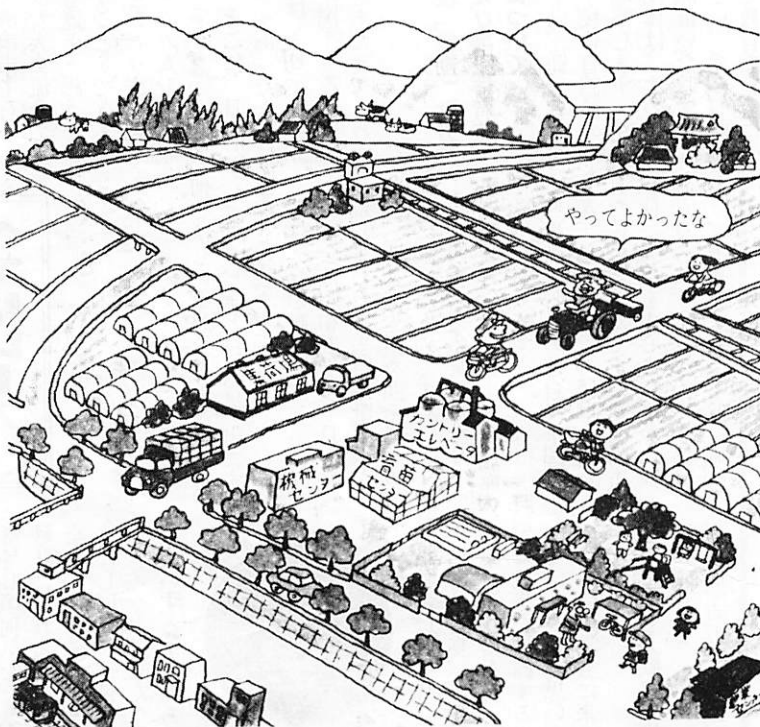
ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

グラフ

費用負担の割合
(本町での県営ほ場整備の予定割合)



取し、返済することになっています。返済の期間は元金の据え置き期間を含めて二十五年以内で、土地改良区が決めま





日中友好のすばらしさ 私の見た中国 兼重厚子(岡)

夏休みの行事として八月六日から一週間、県子ども会連合会が主催した、中国訪問を県下から百五十人の子どもが参加、うち本町から兼重姉妹(阿中)が自費で加わり中国を訪れました。兼重さん(写真)の感想です。



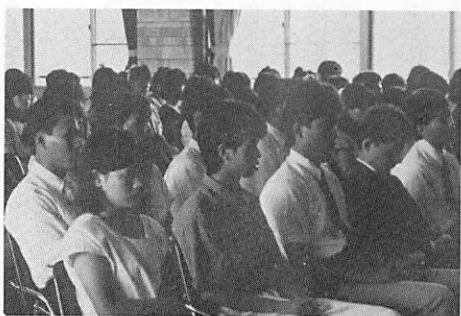
笑顔が、たえなかつたので、何だか、中国の人が、家族や友達のように思えました。

八月六日、福岡空港出発して、中国・上海に着き、広々とした中国大陸を見たとき、中国に来たんだなあと感じました。中国の人は、みんな優しく、

真夏の成人式 懐かしい顔八十四人

八月十五日、町公民館で町主催の成人式が行われ、成人者は半袖シャツやブラウスなど夏衣装で会場に出席、久しぶりにクラスメートにあった友人たちと楽しく語り合う光景がみられました。式には百二人の新成人の内八十四人出席、三好町長、松浦町議会議長、中田憲吾さん(阿中二年)の祝辞を受けたあと、成人者を代表して郡 直美さん(中村)が社会人としての自覚を持ち、課せられた責任をしっかりと果していきますと謝辞を述べました。さらに上野 覚さん(小南)の町民憲章を唱和、中村 孝さん(浜表)が交通安全宣言、江本亜子さん(河内)が記念植樹の目録を贈りました。式終了後山口大講師のルドルフ・プロットさんが「新成人に贈る言葉」と題して記念講演、成人者の成長記録を永久保存する体力測定、青年団主催のアトラクション、婦人会の作られた料理で立食パーティーなどがあり、新成人の門出を祝いました。

八月十五日、町公民館で町主催の成人式が行われ、成人者は半袖シャツやブラウスなど夏衣装で会場に出席、久しぶりにクラスメートにあった友人たちと楽しく語り合う光景がみられました。式には百二人の新成人の内八十四人出席、三好町長、松浦町議会議長、中田憲吾さん(阿中二年)の祝辞を受けたあと、成人者を代表して郡 直美さん(中村)が社会人としての自覚を持ち、課せられた責任をしっかりと果していきますと謝辞を述べました。さらに上野 覚さん(小南)の町民憲章を唱和、中村 孝さん(浜表)が交通安全宣言、江本亜子さん(河内)が記念植樹の目録を贈りました。式終了後山口大講師のルドルフ・プロットさんが「新成人に贈る言葉」と題して記念講演、成人者の成長記録を永久保存する体力測定、青年団主催のアトラクション、婦人会の作られた料理で立食パーティーなどがあり、新成人の門出を祝いました。



昭和三十二年「後期」勤労者体育センター及び学校体育施設利用団体募集について
町教育委員会では、勤労者体育センター及び学校体育施設の後期利用団体を募集します。利用を希望される団体は、次のとおり調整会議を開催いたしますのでご出席ください。希望日時を九月十二日まで教育委員会に提出してください。
利用期間 昭和62年9月28日、昭和63年3月31日
調整会議は九月十六日(水)午後七時三十分、公民館二階大会議室で開催いたします。

くさぶえ

吉野 守(砂三)

くさぶえ
何と懐しい郷愁をさそう言葉でしょう。ピーと良い音が出ます。温みも感じます。
くさぶえ会の誕生です。
この会は昭和五十年七月に発足致しました。当時は歌好きな者四、五人で先生を囲んで一生懸命に歌ったものです。
現在四十名近い会員になり、毎週水曜日午後七時より公民館で歌っております。
先生はNHKのど自慢全国大会第二位(二回)の経歴を持たれた佐伯博さんです(新南陽市在住)先生を中心に和やかに練習が進みます。一小節一小節区切って強弱アクセント等、歌の

過日白松苑に参りましてご老人と共に歌う事が出来ました大

変感激致しました。
結婚披露宴、各宴会、友人との集い等自信を持って日頃の練習の成果を披露する事も出来るのではないかと思います。
一度くさぶえ会に来てみませんか!!
どなたでも大歓迎、皆で腹から歌いましょう。
事務局 吉野守 〇三三八

各種大会の成績

子ども会スポーツ大会

八月九日雨天のためソフトボール・三世代ゲートボール大会は中止のため長縄とびを開催
①赤浜チーム、②東条チーム、③巨岡チーム、最高は寺浜の百十六回でした。

町内オープンテニス大会

男子ダブルス A級の部
①竹本・縄田組、②村田・村田組、③引藤・兼重組

B級の部

①竹本・大谷組、②前山・上野組、③中田・石田組

女子ダブルス A級の部

①浜田・小林組、②上野・藤井組、③背戸山・磯崎組

B級の部

①村田・米中組、②井上・竹重組、③柱・林組

近郷JVCバレーボール大会

A級の部(六年生主体のチーム)
①牟礼チーム、②阿知須チーム
③大殿、西岐波チーム

B級の部(五年生主体のチーム)

①厚狭チーム、②華城チーム
③阿知須、新田チーム

ふれあい広場

「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画課(有線二一四四)へお寄せください。



「今は仕事、仕事」新成人代表
郡直美さん(三〇)

中村

八月十五日、町公民館で行われた成人式で、新成人の代表として謝辞を述べた人。

町がお盆に成人式を行うようになって今年で五回目。夏の成人式はどうですか。

「いいと思いますよ。お盆という事で、みんな帰っているのが人が集りやすいですからね。女性の中には着物が着たいという人もいますが、私は気楽に参加できる方がよいと思います。式は一時間で、少し長い



久し振りに授業を受けているような気がしました。話はおももしろかったですよ。友達に久し振りに会ってどうでしたか

「私は勤めているので、出席者路をさして名張の山越ゆるあやまちは練りかへさじと碑あり誰にむかって誰が誓ふか蚊張に居て夜半の目ざめに思ひをり朝の茶がゆの餅の事なぞ道辺には原発反対の看板あり海水浴客の溢れ往き来す

短歌

正司 ウメノ

孫を昔に花火を見しは十年前吾永らえて一人見に来つ

藤重 アヤ子

潮引きし遠き干潟の水際へに群れて憩へる白き水鳥

平海 アサノ

朝夕に仏前に座す吾が務め亡き夫に告ぐ曾孫の誕生

師井 泰枝

泪して裕次郎葬を見つつ居り七月十七日吾が誕生日

古谷 トメ

宿近き橋のたもとに見る蜜この頃へりしと人なげきをり

木原 百合雄

万葉の故人を偲び友の待つ伊勢

松重 三次

路をさして名張の山越ゆるあやまちは練りかへさじと碑あり誰にむかって誰が誓ふか

松尾 君代

蚊張に居て夜半の目ざめに思ひをり朝の茶がゆの餅の事なぞ

藤重 幾代

道辺には原発反対の看板あり海水浴客の溢れ往き来す

松代 二郎

ペンリレーに載せると友を竹林の前に誘ひて撮るカメラかな

中本 幸枝

蛾のたちて稲の葉白きが目立つ中汗をたりつつ追肥撒きゆく

渡辺 宮子

働きて買ひ揃へたる百科辞典娘らゆきてのち書棚に古りし

砂村 ヤス子

幕に來れば見おぼえの花活けてあり嫁ぎし家のすかし百合二つ

石田 光比呂(講師)

草色の淡きカマキリ草の葉を動かす吾を意識するらし

三住 清子

縁ありて旧友と出会ふ短歌会手を取り合ひてたのしみにせむ

古谷 ハナコ

うとうととまだ覚めやらぬ暁のしじまを破るひぐらしの声

吉村 米一

真夏日の空の青さの美しく窓辺に朝の光さしこむ

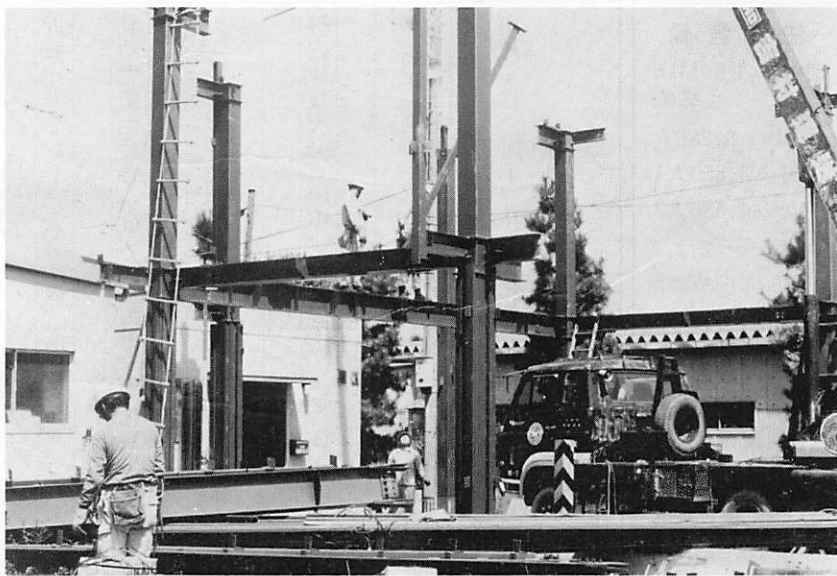
村田 ウメノ

水あびの悪さん坊のいたすらに昔を忍びなつかし思ふ

田頭 フテ

美しく咲いたる月下美人観せるため二人の寮母老の部屋まで

社会福祉センターが年内に完成



▶すすむ建設工事(奥の建物が社協事務所)

町社会福祉協議会(重村幸作会長)が一層の活動充実のため建設中の「社会福祉センター」の工事がすすめられています。

場所は同協議会事務所の南側(町役場南側)で、鉄骨造二階建て、のべ床面積約二百八十平方メートル。

一階には図書室、管理室、相談室、会議室、二階には子ども室、老人憩いの室、講習室、レクリエーション室などが作られる予定。

総工費は備品なども含めて約四千万円。オートレース収益金の還元補助金として二千六百五十九万円、町からの補助金が八百万円。

落成式は今年十二月中旬に行われる予定です。

「おわび」広報八月号(No.四二八)の七ページの記事中、町消防団長のお名前が「白井昭裕」さんとなっていました。白井昭裕さんに訂正します。

おし らせ



日本国籍取得の 届けは年内に

外国人の父と
日本人の母を持つ人

国籍法の改正により日本人の子で一定の条件を備えている外国人は、法務大臣へ届け出る事によって日本の国籍を取得することができますようになっています。

そのうち、改正国籍法の施行前に外国人の父と日本人の母との間に生まれた子の国籍

取得の届け出は、本年十二月三十一日までの期限となっていますので、希望者は早目に法務局に相談を。

この届け出により国籍を取得できる条件は次のとおり。

- 一、昭和四十年一月一日から五十九年十二月三十一日までに生まれたこと
- 二、日本国民であったことがないこと
- 三、出生の時に母が日本国民であったこと
- 四、母が現に（または死亡の時に）日本国民であること

野志志さん（且北）は祖父栄治さんの
◇篤志▽匿名にじ▽匿名（165回）▽沖の原自治会は盆踊り大会焼香銭を。



〈町へ〉

◇広報送料▽米沢フジノさん（福岡県遠賀郡岡垣町西高陽）西岡竹市さん（小郡町長谷西区五〇六の七）

〈町社会福祉協議会〉

◇香典返し▽北野ナミ子さん（且北）は夫利昭さんの▽北

障害者に雇用の場を

9月は「障害者雇用促進月間」

職業に就く意欲があるのに心身に障害があるというだけで、雇用されない人がおられます。

障害者が一人でも多く働く場を得て社会活動に参加し、充実した日を送ることができるよう、労働省では九月を「障害者雇用促進月間」と定めて、事業主や住民のみならずのご理解、ご協力を求めています。

▽届け出および問い合わせ先
山口地方法務局 山口市黄金町二十九（山口口）二一九五

引揚者の通貨・証券などをお返しします

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

▽終戦後、外地から引き揚げてこられた人が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券など

▽外地の集結地において、総領事館などに預けられた証券などのうち、日本に送り返されたもの
返還の申し出は、家族の方でもできます。
▽問い合わせ 宇部税関支署（宇部）七三九一

町職員の異動

7月10日付

() は旧

〈町長部局〉

産業課農林係長 長尾建樹
（税務課賦課徴収係長） 税務課賦課徴収係長 村田博志
（教育委員会社会教育課社会教育係長） 総務課交通防災係長兼務 兼重隆文（総務課町民相談係長） 総務課付 江本英明（産業課農林係長）

〈教育委員会事務局〉

社会教育課社会教育係長 上野一秋（総務課交通防災係長）
社会教育課社会教育係 江口力（新採）

出生（おすこやかに）
親の名 続柄子の名 月 日 住所
田中義樹長女志穂 7・25 飛石



死亡（ご冥福を祈ります）
氏名 死亡月日年齢 住所
吉村 文子 8・9 63 西 条
金満美津枝 8・6 70 砂 三
正司 政男 8・21 72 向井 関
（八月二十二日受付分まで）

町民カレンダー 9月

（役場）
（公民館）
（体育センター）

8	健康相談（役、前9時半） 育児相談（役、後1時半）
9	一歳六か月児健康診査（公、後1時） 参観日（阿小）
10	妊婦教室（役、前9時半）
11	献血（役、前9時） 町敬老会（公、前9時）
12	阿中体育大会
13	第三回定例町議会招集
14	
15	
16	三種混合（役、後1時半）
17	妊婦教室（役、前9時半） 参観日、友愛セール（井小）
18	
19	近郷パドミントン大会（体、前9時）
20	
21	乳幼児衛生教育（役、後1時半） 文化祭（阿中）
22	
23	
24	
25	
26	
27	町内球技大会（阿中、干拓グラウンド、体、前8時）
28	
29	
30	運動会予行（阿小、井小）
ム	10月4日 阿小、井小 運動会
モ	
納	国民健康保険税

人の動き
住民登録 （昭和62年8月31日現在） 人口… 8,286人 （男… 3,850人） （女… 4,436人） 世帯… 2,277
昭和60年国勢調査 （人口… 8,407人） 世帯… 2,334
8月の動き
出生… 8人
死亡… 3人
転入… 25人
転出… 16人